

ヤマアカガエル (馬堀自然教育園)



カエル は冬になると冬眠して姿を見せなくなるように思われがちですが、ヤマアカガエルは真冬に馬堀自然教育園で見られることがあります。このカエルは、気温が下がる11月頃に一旦冬眠に入りますが、産卵のため1月～2月頃に目をさまし、産卵後はふたたび冬眠にもどって春を待つ「二度寝」をするカエルです。馬堀教育園では一時期姿が見られなくなりましたが、近年になって頻繁に見つかるようになりました。

カモメ (天神島臨海自然教育園)

カモメ は模様のない黄色いくちばしと黄色い足が特徴の小型のカモメ類です。カモメは神奈川県の鳥に指定されていますが、「カモメ」という種は県内では見られることは少なく、天神島臨海自然教育園でも年に数羽が見つかる程度です。同じカモメのなかまのウミネコ、ユリカモメ、オオセグロカモメなどは県内の海岸で多数みることができるため、「カモメ類」という意味で県の鳥がカモメになったということです。



自然教育園だより

横須賀市自然・人文博物館付属 馬堀自然教育園 / 天神島臨海自然教育園

Vol.6 No.3

(2013年秋冬号)

2013年11月28日発行

横須賀市自然・人文博物館

046-824-3688

馬堀のみどころ (11~2月)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----



イロハモミジ (11月)



シロハラ (2月)



ウシカメムシ (12月)

秋に実ったカラスザンショウ、タブノキ、マテバシイ、スダジイなどの果実や種子、落ち葉の下で冬ごもりをする昆虫やミミズなどを目当てに、シジュウカラ、ヒヨドリ、シロハラなどの小鳥たちが樹木の間や地面でえさを探します。もっとも気温が低くなる2月には水辺でトウキョウサンショウウオの産卵が行われます。



ヒメオビオオキノコムシ (11月)



シメ (1月)



エノキタケ (12月)



メジロ (2月)



マンリョウ (11月)



センリョウ (11月)

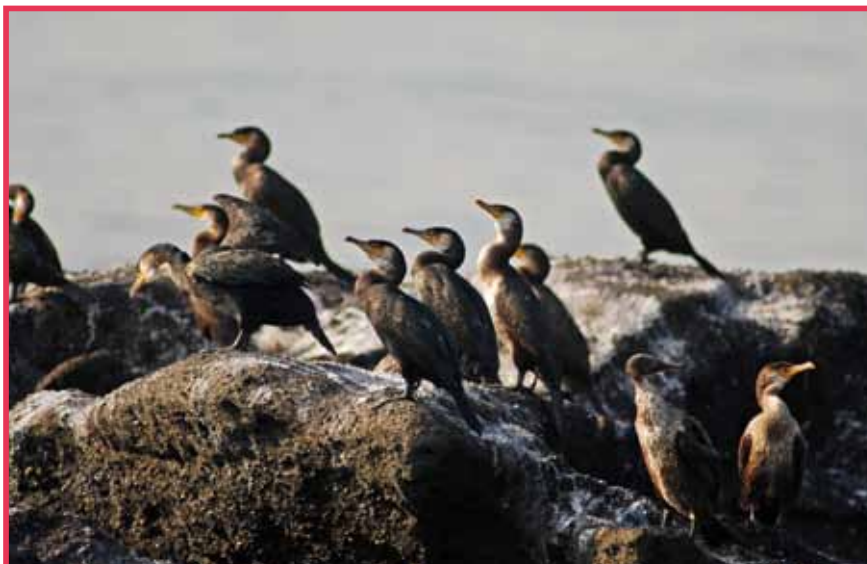


トウキョウサンショウウオ (2月)

天神島のみどころ (11~2月)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----

春から 初夏にかけて潮がよくひいた海岸線も、秋から冬にかけての日中は潮位に大きな動きはなくなり、磯の生き物の観察が難しくなります。しかし、海の中では多くの海藻が成長期を迎えて、藻場と呼ばれる海中のジャングルをつくりだします。カモメ類やウミウなどの冬鳥も北方から冬越しをするため天神島の海岸を訪れます。



ウミウ (12月)



ツワブキ (11月)



トベラ (12月)



ワカメ (2月)



クロサギ (2月)



カワラヒワ (12月)



サガミノウミウシ (2月)



オオセグロカモメ (2月)



ツルオオバマサキ (11月)



ジョウビタキ (2月)

自然教育園の行事案内

今年度の行事についての詳細はリーフレット等をご覧ください

天神島ガイドツアー

天神島臨海自然教育園では毎月第4日曜日に、園内の自然をご案内する天神島ガイドツアーを開催しています。動植物や地質など、天然記念物に指定された天神島の豊かな自然について博物館職員が解説します。

©2013年度は12月22日、1月26日、2月23日、3月23日の13:00～14:00に開催。申込不要。保険料一人50円が必要。



天神島から見た富士山 (12月)



冬鳥のツグミ



漂着したアコヤガイ

自然教育園のできごと

天神島臨海自然教育園の台風被害

10月16日早朝に関東地方の東の海上を通過した台風26号は天神島に大きな影響をもたらし、保護柵によって囲われた海岸植生の一部が砂ごと流され、保護柵の土台もむき出しになりました。今夏にハマゴウの脇で確認されたハマナタマメ(神奈川県内では三浦市松輪の毘沙門だけに分布し、神奈川県の絶滅危惧種とされています)は、残念ながら定着することなく流されてしまいました。また、笠島でも波浪による島内の砂の流出が激しく、11月8日の植物調査では、今春に比べ海岸植物が全体的に減少していることがわかりました。



台風によって砂が流され、保護柵の土台がむき出しになった。

笠島の清掃

11月8日、清掃作業のため笠島に上陸しました。ガラスや材木、ペットボトルなど様々なゴミが流れていました。特にペットボトルは200本ほど見つかり、一部の破損やよごれのひどいものは廃棄したものの、187本をリサイクル容器回収に出すことができました。

馬堀自然教育園の台風被害(倒木多数)

台風26号は北向きの強風をもたらし、園路には多数の枝や葉が散乱し、谷道の観察路は水路となり、倉庫前のケヤキは倒れて電線が切られるなどの被害が出ました。倒木の撤去と電線の復旧作業のため、16～



観察路をふさいだケヤキなどの倒木

17日の2日間を臨時休園としました。

天神島臨海自然教育園の珍しい漂着物

強い風が吹いた次の日の天神島では、時に楽しい発見があります。10月の台風ラッシュでは、ゴミや材木などがたくさん流れ着き、普段あまり見られないカメノテの塊などが見られました。台風ではありませんでしたが、11月10日も強い南南西の風が吹き、浜にはたくさんの漂着物が打ち上げられ、全長10cmほどのウミケムシやクモガタウミウシが打ち上げられていました。



漂着したカメノテ

横須賀市自然・人文博物館と付属自然教育園のお問合せ

博物館(本館): 横須賀市深田台95 電話046(824)3688 Fax.046(824)3658

天神島臨海自然教育園・ビジターセンター: 横須賀市佐島3-7-2 電話(Fax.)046(856)0717

馬堀自然教育園: 横須賀市馬堀町4-10-3 電話(Fax.)046(841)5727

◎博物館や教育園の情報や「教育園だより」は下記ホームページでもご覧いただけます
<http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp>